



あなたと一緒にマチエコを学んでいきます！

スマホで動画！

アプリでARのある写真を写すと、就任あいさつが流れます。詳細は市庁（QAR）へ



AR

みなも 水萌みずさん（所沢市マチエコ大使）

平成28年11月からマチエコ大使に就任した現役アイドル。日本大学芸術学部在学中。GAKUSEIBU所沢駅イメージモデルも務め、市内イベントでライブを積極的に開催。

がんばります♡



▶マチエコ大使の活動は水萌さんの公式ツイッターでチェック！

2月13日(月)の動画コンテスト表彰式にも登場！（7面参照）



「所沢は第二のふるさとです。所沢駅周辺などはとても都会的な雰囲気ですが、市内には自然がたくさん残っています。そこが魅力ですね」。2人目のマチエコ大使となった水萌みずさんは、柔らかく微笑みます。

マチエコ大使は、「マチごとエコタウン所沢構想」を分かりやすくPRする役割です。1人目のマチエコ大使である上田マリノさんは環境ナビゲーターとして活動していますが、水萌さんは「小学校のころは自然のことを勉強するのが大好きでした。でも、専門家と言えるほどの知識はありません」。少し申し訳なさそうな顔になったあと、「でも、マチエコの初心者だからこそ、これまで興味がなかった方やマチエコがよく分からない方に寄り添って、一緒に学んでいけると思うんです」と真っすぐに話します。

アイドル（BANZAI JAPAN）としての活動も真っすぐ全力投球。大学に通いながら毎週のようにライブをこなし、歌やダンスのレッスンも欠かしません。ほぼ毎日動画配信を行い、オフの日はほとんどありません。それでも「武道館ライブを目指して奮闘中です！毎日が充実しています」と常に前向きです。

醸し出す雰囲気もインタビューの受け答えもとてもソフトでおとなしい印

象を受けましたが、実はエネルギッシュな水萌さん。ライブ終了後にごはん6杯をペロリとたいらげるほど食欲旺盛です。しかし、クラシックバレエ仕込みのキレイのいいダンスを踊り続ける姿を見ると、それも納得できます。

「マチエコ大使になる前から、野老澤行灯廊火や市民フェスティバルなど、所沢のイベントに出演していましたが、さらに積極的に参加したいと思えます！」と力強い決意表明。水萌さんのステージを市内で見られる機会は今後増えていきそうです。

イベントだけでなくツイッターやフェイスブックといったSNSでの情報発信も得意としています。

「アイドルとしてだけでなく、マチエコ大使としても発信していきます。マチエコ初心者でも分かりやすく楽しめる内容を考えていきたいです。一人でも多くの方に興味を持ってもらえたらうれしいですね」

使命感に燃える水萌さんを応援しながら、一緒に楽しくマチエコを学んでみませんか？（取材：鹿島）



今月のプレゼントクイズ！

会場を緑に染めよう！

埼玉ブロンコスペア観戦チケット

日本初の市民チームとしてスタートしたプロバスケットボールチーム埼玉ブロンコス。全国で熱戦を繰り広げながら、所沢市観光大使として、所沢をPRしています！ブロンコスの活躍を間近で見たいませんか？

◆試合詳細
 3月12日(日)午後2時～
 場 市民体育館（並木）
 東京海上日動ビッグブルー
 一戦・1階自由席



●埼玉ブロンコス ☎ 2923 - 5100

◆今月のクイズ

10～12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法（2月12日(日)締め切り・消印有効）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦2月号の感想を記入し、〒359 - 8501広報課に郵送・市庁（Qプレゼント）で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。

◆プレゼント提供事業者も募集中！

詳細は、市庁（Qプレゼント募集）をご覧ください。



読者感想文

- 所沢で生まれ育ったのに、まだまだ知らないことがありました。本当に再発見です。友達が遊びに来たときにも役立ちそうですね（北秋津・30代女性）
 - 87年住んでいる所沢の魅力を見ることができました（旭町・80代男性）
 - 行きたいところがたくさん見つかりました。所沢がますます好きになりました！（小手指町・30代女性）
 - 所沢に引っ越してきて1年、所沢のことを良く知ることができて助かりました（荒幡・20代男性）
- 編集から ●1月号特集「所沢の魅力、再発見。」で、「本当に再発見できました！」という感想を多くいただきました。「すぐにオススメポ

ットに行ってみた」という方もいらっしゃって、広報紙を読むだけでなく行動につながったことがとてもうれしいです。所沢をもっと好きになって、多くの方に魅力を紹介してください♪

- クイズを娘と一緒に考えて楽しかったです（緑町・40代女性）
 - クイズを家族みんなと話しながらかきました（北野南・9歳女性）
- 編集から ●広報紙のクイズが家族のだんらんに一役買ったようでうれしい限りです。通常のクイズは毎月掲載しますので、またチャレンジしてみてくださいね！



編集後記

1月号プレゼントクイズは過去最高の748通の応募がありました。ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました！当選総数が36人でしたので、倍率は20倍を超えました。当選された方は、本当におめでとうございます。特集に大きな反響があり、編集一同大変うれしく、また、身が引き締まる思いです。皆さんの声をエネルギーに変えて、より良い広報を目指します！引き続き、ご愛読ください（鹿島）

今回のエッセイは「デート」がテーマ。どんな甘酸っぱい話が届くか楽しみにしていましたが、まさに胸キュン！すてきな思い出を共有できるエッセイ、次回「ペットと私」も楽しみです♪（佐々木）

特集の取材。意外な農産物、有名な歌人との縁…地域の魅力を熱く語るウォークラリー大会の実行委員長の姿に地域愛を感じました。歩いて初めて見えるまちの魅力。まだまだありそうです（加賀谷）